

令和8年度 麻生区社会福祉協議会「ボランティアグループ等活動助成」申請書

川崎市麻生区社会福祉協議会会長 様

提出日を記入してください

令和8年7月10日

記入例

※別紙への記載は不可です。必ずこの申請書をご使用ください。

団体名		子育てボランティア りぼん				
代表者	氏名	麻生 キュー太		押印を忘れずに 印		
	住所	〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2				
	電話	044-952-0000	FAX	044-952-XXXX		
	E-mail	asaoku@csw-kawasaki.or.jp				
(書類送付先) 連絡担当者	氏名	福祉 華子				
	住所	〒215-0004 麻生区万福寺1-5-1				
	電話	044-000-5500	FAX	044-XXX-1424		
	E-mail	なし				
該当する項目を選び、□の中に番号をご記入ください。						
・麻生区社会福祉協議会の会員ですか？ ①会員 ②非会員					1	
・団体の区分は？ ①当事者団体 ②ボランティアグループ ③その他()					2	
・団体の活動分野は？ ①高齢者 ②障害児者 ③児童 ④青少年 ⑤その他()					3	
団体・グループの概要	設立年月	昭(平・令) 2年 7月	活動年数	35年		
	活動拠点	福祉パルあさお 他		会員募集	無・有(条件 特になし)	
	会報	年 2 回発行	パンフレット	無・有		
	ホームページ	無・有 http://www.kawasaki-syakyo.jp/asa/				
	会員数	ボランティア 24名 (そのうち区内在住の方 22名) 当事者 0名 (そのうち区内在住の方 0名) その他 1名 (そのうち区内在住の方 0名)				
		(女性 22名 男性 3名) 合計 25名 (そのうち区内在住の方 22名)				
	年齢層	50歳 ~ 70歳 60代中心				
活動目的 未就学児までの子供を持つ保護者の方を対象とした子育てサロンを行っている。簡単な手遊びや季節の行事なども行っているが、基本的には自由に過ごしていただくことを主としており、友達づくりなどの出会いの場として、子育て中の保護者を支えることを目的としている。 毎月第二木曜日の午前中10時から子育てサロンを開催。同時に毎月1回会の打ち合わせを行っている。						

該当する項目を選び、□の中に番号をご記入ください。

申請区分 ①新規事業 ②継続事業

※新規事業は、別紙企画書の提出が必要です。

申請金額 20,000 円

2

助成金の使いみち

- ①活動において常時必要な機材購入にかかる経費の一部
- ②団体などが主催する講演会、研修、講座などの開催経費の一部
- ③年次活動経費の一部
- ④その他

3

助成金を申請する具体的な使途内容

子育てサロンを実施するにあたり、会場費がかかります。会費だけでは会の負担が大きく、上記金額を申請します。また、ボランティア行事用保険及び季節の行事費についても使用したいと考えています。

令和8年度収入（予算書から該当する項目及び金額を転記してください）

項目	金額	内容
自主財源	会費収入	25,000 会費額1,000円/25人(年額・月額・その他)
	行事等参加費	24,000 参加者負担金50円×40人(平均参加数)×12回
	バザー売上、雑収入等 その他の自己確保資金	10,000 バザー売上金
他団体からの助成 (※複数団体から助成を受けている場合は、すべて記入してください。)	0	
令和7年度からの繰越金	11,000	
令和8年度収入総額	90,000	←令和8年度の総収入額を記入してください。

令和8年度支出（助成金を含む支出について予算書から該当する項目及び金額を転記してください）

項目	金額	内訳
賃借料(会場費)	12,000	会場費用1,000円×12回 (うち、助成金使用予定額 12,000円)
保険料	13,440	ボランティア行事用保険料 参加者40人×12回×28円 (うち、助成金使用予定額 4,000円)
消耗品費	10,000	行事開催時の飾りや、景品代等 (うち、助成金使用予定額 4,000円)
		(うち、助成金使用予定額 円)
		(うち、助成金使用予定額 円)

助成金の振込先

銀行名	麻生	銀行 信用金庫	新百合ヶ丘	支店 本店	口座番号	普通 当座	1234567
(フリガナ)	コソダテボランティア リボン ダイヒョウ アサオキュータ						
口座名義	子育てボランティア リぼん 代表 麻生キュー太						

新規事業 企画書

記入例

※新規事業での申請については、申請者が令和8年度から新規に取り組む事業であることが前提条件になります。

事業名	配食サービス事業
背景と目的	<p>●事業実施の背景と事業の目的</p> <p>従来、一人暮らしや高齢世帯の方の閉じこもり防止などを目的として月2回の会食会を開催してきたが、参加されている方々の高齢化に伴い外出が困難に感じる方が増えてきた。そのため、あらたに配食サービス活動を展開し、栄養バランスのとれた食事を提供し、また地域で見守れる体制づくりに努めたい。</p>
事業概要	<p>●事業の概要(どのような方法で実施するのか)</p> <p>※上記記載の目的を達成するための事業の実施内容を簡潔に記載</p> <p>会食活動日とは別に、月2回(第2・第4月曜日)に配食サービスを実施。活動者は、会食会に携わるボランティア。また利用者は、これまで会食会に参加されていた方を中心に声をかけていく。また、あらたに、配達ボランティアを募っていく。</p> <p>●対象</p> <p>〇〇地域に住んでいて、65歳以上の高齢者。一人暮らしまたは、高齢世帯もしくは日中独居の方を対象とする。</p>
スケジュール的コンテンツと	<p>●事業実施期間(開始日～終了日)</p> <p>令和8年4月～8月を準備期間として、事業実施は9月から。年間通じて実施。</p> <p>●具体的実施内容</p> <p>(いつ、どこで、誰を対象に、何を、どのように実施するのかなど、現時点で分かっている範囲をご記入ください。)</p> <p>調理場所:〇〇会館 午後から調理をし、夕方に夕食として弁当を配達</p>
事業実施の効果	<p>●事業の実施により、どのような効果が期待できると考えますか?</p> <p>配食サービスを行うことにより栄養管理や健康維持を図るとともに安否確認を行える。また、継続して関係性を保つことで、配食以外の情報提供をすることもできる。</p>
助成期間終了後の展望	<p>●助成終了後の発展・展望について</p> <p>次年度以降も、会食サービスと合わせて配食サービス事業を進めていきたい。</p> <p>●事業を継続するにあたっての、収支の見通しについて</p> <p>次年度からは、団体全体として事業収支のバランスをとれるように努める。</p>